BOSCH

DIY 電動工具

バッテリードライバードリル

PSR 960
PSR 1200/B
PSR 1440/B

取扱説明書

用　途
●木材、金属での穴あけ ●ネジの締め・緩め
※本製品はご家庭での使用を想定した「DIY用」製品です。業務で頻繁に使用される場合は、当社「プロ用」製品のご使用をお薦めします。

このたびはボッシュ・バッテリードライバードリルをお買い求めいただき、ありがとうございます。

- ご使用になる前に、この［取扱説明書］をよくお読みになって、正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないことが起きたとき、もう一度お読みください。
- 充電については、充電器の取扱説明書を併せてお読みください。

目　　次

安全上のご注意

警　　告——2
注　　意——3

本機使用上のご注意

警　　告——7
注　　意——7

各 部 の 名 称——8

標準付属アクセサリー——9

各 部 の 操 作——10

充 電 の 仕 方——14

作 業 の ヒ ン ト——17

お手入れ・保管の仕方——18

故障かな？と思ったら——19

リ サ イ ク ル——21

仕　　様——23

注意文の ⚠警 告、⚠注 意 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警 告 と ⚠注 意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警 告 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注 意 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠注 意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

安 全 上 の ご 注 意

⚠ 警　告

①専用の充電器やバッテリーを使用してください。

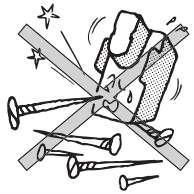
- 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。取扱説明書に記載してあるバッテリー以外は、充電しないでください。破裂して傷害や損傷を及ぼす恐れがあります。

②正しく充電してください。

- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。異常に発熱し火災の恐れがあります。
- 温度０℃未満、あるいは温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。感電や火災の恐れがあります。

③バッテリーの端子間を短絡させないでください。

- 釘袋等に入れると、短絡して発煙、発火、破裂等の恐れがあります。



④感電に注意してください。

- ぬれた手で電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。

⑤作業場の周囲状況も考慮してください。

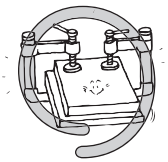
- バッテリー工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- 可燃性の液体やガスのある場所で使用したり、充電したりしないでください。爆発や火災の恐れがあります。

⑥保護メガネを使用してください。

- 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。切削したものや粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⑦加工するものをしっかりと固定してください。

- 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手でバッテリー工具を使用できます。固定が不十分な場合は加工するものが飛んでけがの恐れがあります。



⑧つぎの場合は、バッテリー工具のスイッチを切り、バッテリーを本体から抜いてください。

- 使用しない、または、修理する場合。
- 刃物、ビット等の付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。
- 本体が作動してけがの恐れがあります。

⑨不意な始動は避けてください。

- スイッチに指を掛けて運ばないでください。本体が作動してけがの恐れがあります。

⑩指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- 本取扱説明書及びボッシュカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。事故やけがの原因となる恐れがあります。

⑪バッテリーを火中に投入しないでください。

- 破裂したり有害物質の出る恐れがあります。

⑫防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓・耳覆い（イヤマフ）等の防音保護具を着用してください。

⚠ 注　意

①作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は、事故の恐れがあります。

②子供を近づけないでください。

- 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。けがの恐れがあります。
- 作業者以外、作業場へ近づけないでください。けがの恐れがあります。

③使用しない場合は、きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れが

あります。
- バッテリー工具やバッテリーを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

④無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために、バッテリー工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上でのご使用は事故の恐れがあります。
- モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。

⑤作業に合ったバッテリー工具を使用してください。
- 小型のバッテリー工具やアタッチメントは、大型のバッテリー工具で行う作業には使用しないでください。けがの恐れがあります。
- 指定された用途以外に使用しないでください。けがの恐れがあります。

⑥きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。すべりやすい手袋や履物はけがの恐れがあります。
- 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。

⑦充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。

- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電やショートして発火する恐れがあります。

⑧無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒してけがの恐れがあります。

⑨バッテリー工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用するとけがの恐れがあります。

- 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。けがの恐れがあります。
- 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの恐れがあります。

⑩調節キーやレンチ等は、必ず取り外してください。

- スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出してけがの恐れがあります。

⑪屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

⑫油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- バッテリー工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。軽率な行動をすると事故やけがの恐れがあります。
- 常識を働かせてください。軽率な行動をとると事故やけがの恐れがあります。
- 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの恐れがあります。

⑬損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電やショートして発火する恐れがあります。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできないバッテリー工具は、使用しないでください。異常動作してけがをする恐れがあります。

⑭バッテリー工具の修理は、専門店に依頼してください。

- サービスマン以外の人は本体、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをする恐れがあります。
- 本体が熱くなったり異常に気付いた時は点検修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

本機使用上のご注意

⚠ 警告

- **作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に充分確かめてください。**
  埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因となります。

- **使用中は振り回さないよう本体を確実に保持してください。**
  確実に保持していないと、けがの原因になります。

- **使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないでください。**
  けがの恐れがあります。

- **バッテリー２個をこえる連続使用はしないでください。**
  本体が温度上昇し、低温やけどする恐れがあります。

- **高所作業の時は下に人がいないことをよく確かめてください。**
  材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。

- **使用中、機体の調子が悪かったり異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼してください。**
  そのまま使用していると、事故の原因になります。

- **誤って落したり、ぶつけたときは、工具類や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
  破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 注意

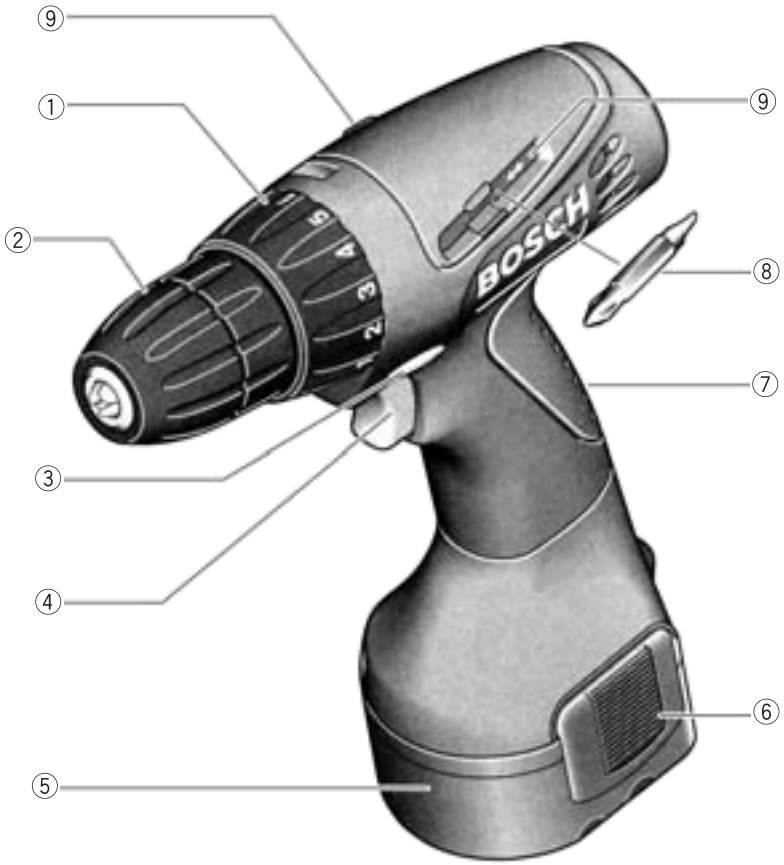
- **先端工具類（ドリルビットなど）や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
  確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。

- **使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**
  回転部に巻き込まれ、けがの恐れがあります。

- **細径ドリルは折れやすいので注意してください。**
  飛散して、けがの恐れがあります。

- **作業直後の先端工具や切りくずなどは、高温になっていますので触れないでください。**
  けがの恐れがあります。

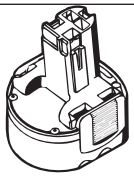
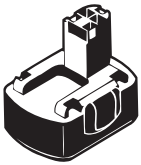
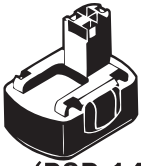
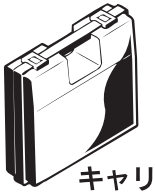
各 部 の 名 称



① トルク調整リング
② キーレスチャック
③ 正転･逆転･安全ロック切替スイッチ
④ 電子無段変速スイッチ
⑤ バッテリー
⑥ バッテリー取りはずしボタン
⑦ ソフトグリップ
⑧ ドライバービット
⑨ ビットホルダー

このイラスト内の形状は、実際の形状と異なる場合があります。

標準付属アクセサリー

品名と姿	注文番号
 9.6Vバッテリー（PSR 960に標準付属）	2 607 335 440
 12Vバッテリー（PSR 1200/Bに標準付属）	2 607 335 526 （標準付属は2個）
 14.4Vバッテリー（PSR 1440/Bに標準付属）	2 607 335 528 （標準付属は2個）
 充電器	AL 60DV1411
 ドライバービット	―――
 キャリングケース	2 609 160 062

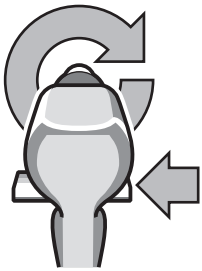
※イラスト内の形状は、実際の形状と異なる場合があります。

正転・逆転・安全ロックの設定

⚠注 意 ： ● **正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③はモーターの回転中は操作しないでください。故障の原因となります。**

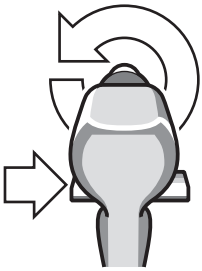
正転･逆転･安全ロックの設定は、正転･逆転･安全ロック切替スイッチ③で行います。

正　転



正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③の右側（機体の後から見て）を押し込みます。
金属・木材等への穴あけ、ネジ締め等に使用。

逆　転



必ずこの位置にしておいて
正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③の左側（機体の後から見て）を押し込みます。
ドリルビットの引き抜き、ネジゆるめ等に使用。

安全ロック

正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③を中間の位置にすると、安全ロックが働き、不意にスイッチが入るのを防ぎます。
使用しない時または先端工具やバッテリーの着脱時等は、
ください。

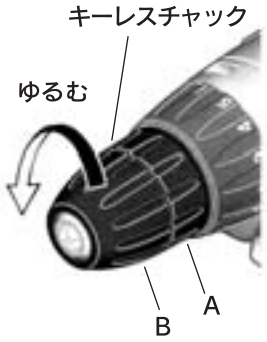
先端工具の取り付け・取りはずし

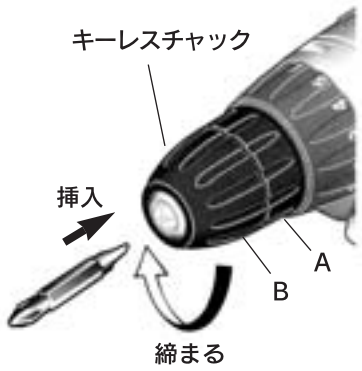
⚠注 意 ： ● **先端工具の取り付けや取りはずしの際、手など身体を傷つけないように十分注意してください。**
● **正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③を安全ロック（中間）の位置にした状態もしくはバッテリーを取り外した状態でおこなってください。不意に作動状態になりますと、けがの原因になります。**
● **先端工具の保持を確実にするために、キーレスチャックはしっかりと締めてください。**

1）取り付け方

1. キーレスチャック②のA部を保持してB部を左方向（正面から見て反時計回り）に回すとキーレスチャックのつめがゆるみます。

2. 先端工具（ドライバービットなど）をキーレスチャックに挿入後、キーレスチャック②のA部を保持してB部を右方向（正面から見て時計回り）に回して締めます。先端工具を軽く引っ張って、抜けてこないことを確認してください。





2）取りはずし方

キーレスチャック②のA部を保持してB部を左方向（正面から見て反時計回り）に回してゆるめ、先端工具を取りはずします。

トルクの調整

⚠注 意 ： ● **各マーク・数字の中間部分では使用しないでください。故障の原因になります。**

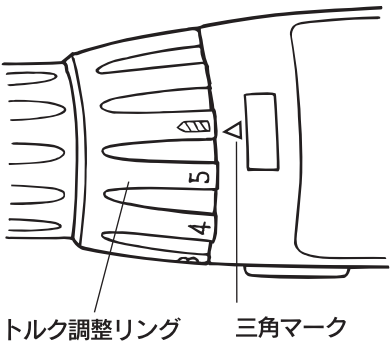
● **締付力は、ネジ径に応じた強さに調整してください。**
強すぎるとネジが切れたり、ネジ頭を傷めますので締付けるネジに合わせて締付力を調整してください。

本機は、トルク調整リング①の調整（5段階）で締付力が変えられます。

1. ドライバーとしてご使用の場合は、トルク調整リングの数字「1, 2, 3, 4, 5 」を外枠の三角マークに合わせてください。（設定した締付けトルクに達すると、クラッチが働きそれ以上の力を加えません）

トルク調整リングの数字が大きくなると締付けトルクが大きくなります。最適位置でご使用ください。

例. 小ネジの締付、軟らかい材料等へのネジ締付、端子ネジの締付にはトルクを小さく。
かたい材料等へのネジ締付にはトルクを大きく。



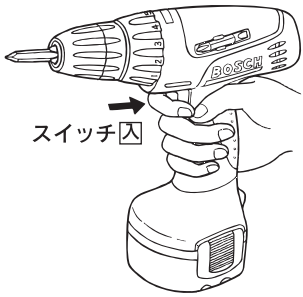
2. ドリルとしてご使用の場合は、トルク調整リングのドリルマーク「 」を外枠の三角マークに合わせてください。最大トルクが得られます。この際、クラッチは作動しません。

スイッチの　入/切

スイッチの入／切は電子無段変速スイッチ④で行います。

スイッチ 入 ：電子無段変速スイッチ④を引きます

スイッチ 切 ：電子無段変速スイッチ④を離します
※この時、ブレーキが作動します



電子無段変速の調整

本機は、電子無段変速スイッチ④の引き加減で回転数を調節できます。
低回転は、こわれやすい材料へのネジ締め、穴あけ作業の位置決めに効果的です。

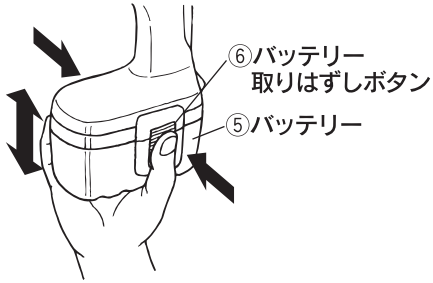
⚠注 意 ： ● **低回転での長時間の作業はしないでください。**
低回転で作業する場合は、数分間ごとに無負荷状態で最高回転でまわして、機体を冷却してください。連続作業の際は必ずスイッチをいっぱいに引き、最高回転で使用してください。

充 電 の 仕 方

⚠注 意 ： ● **バッテリーに強い衝撃等を与えないでください。**
● **バッテリーを保管･移動させる場合は、バッテリー端子間のショートを防ぐため必ず端子部にカバー（絶縁テープ等）をしてください。**

バッテリーの着脱

⚠注 意 ： ● **正転・逆転・安全ロック切替スイッチ③を安全ロック（中間）の位置にした状態でおこなってください。不意に作動状態になりますと、けがの原因になります。**



取りはずし
バッテリー取りはずしボタン⑥を両側から押しながらバッテリー⑤を抜き取ります。

取り付け
バッテリー⑤を機体のグリップの差し込み口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

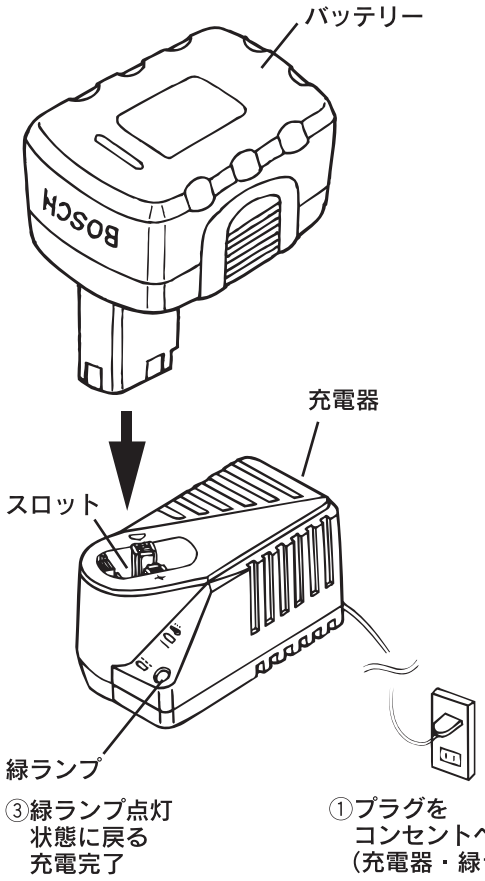
⚠注 意 ： ● **不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。**

バッテリーの充電

ニカドバッテリーの特性として、ご購入いただいてすぐ、ならびに、長期間未使用の場合、100％充電できないことがあります。その場合、約５回程度の充電・完全放電を繰り返すことによってバッテリーは活性化し充分な能力を発揮します。

⚠注 意 ： ● **バッテリーの充電については、充電器の取扱説明書を併せてお読みください。**
● **充電は周囲温度０～40℃の範囲で行ってください。**
● **エンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。**
● **充電完了後は充電器の電源プラグをコンセントから抜いてください。**

②抜き取ったバッテリーを充電器へ
（緑ランプ点滅開始）



①充電器のプラグをコンセントに差し込みます。このとき充電器の緑ランプが点灯します。

②抜き取ったバッテリーを充電器のスロットに差し込みます。緑ランプは点滅に変わります。

＜ご注意！＞

バッテリーが熱くなりすぎたり、逆に冷えすぎている場合、充電を開始しません。このとき、緑ランプは点灯したままです。

バッテリーが適正温度（0～45℃）になった時点で充電器は自動的に充電を開始します。

但し、熱くなりすぎたバッテリーは、できるだけ冷めてから充電を行ってください。

③点滅していた緑ランプが点灯に変わったら充電完了です。

緑ランプの表示について

ランプ表示	充電器の状態
点灯している ———	●充電器通電中 電源プラグがコンセントに差し込まれている。 ※バッテリーを差し込んでいる状態で点灯している場合は、充電完了、充電待機中もしくは充電不可です。 ●充電完了…点滅から点灯に変わった状態 ●充電待機中…バッテリーが適正温度でない状態（適正温度になると自動的に充電） ●充電不可…スロットのゴミづまりやバッテリーに問題が生じた状態
点滅している ー ー ー	●充電中 通常充電している。
消えている	●充電不可 電源プラグがコンセントに差し込まれていない、もしくは充電器が故障している。

バッテリーと充電について

- バッテリーの標準充電時間は約60分ですが電源電圧及びバッテリーの状態により多少変動することがあります。
  尚、規定時間を大幅に越えた充電はおこなわないでください。
- バッテリーは温度モニターを内蔵し約1,000回までの充電を可能にするよう設計されていますが、実際の寿命はご使用条件により変わります。
- バッテリーの寿命を長くするためには必ず電池容量が空になってから充電をおこなってください。
- 正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合はバッテリーの寿命がきたものとお考えいただき、最寄りの販売店にて新品バッテリーをお求めください。

作業のヒント

⚠注意 ： ● **長時間連続作業するときは、機体やバッテリーが熱くなることがあります。この時は、しばらく休ませ、機体とバッテリーを冷やしてください。**

ネジ締め

本機は、締付けるネジに対して、まっすぐな状態で操作してください。
かたい材料へ、大きなネジ・長いネジを締付ける際にはあらかじめ下穴をあけてください。

金属への穴あけ

ドリルビットが貫通する前に押しつける力を弱めてください。
本体がロックしたり、ドリルビットがチャックから滑ることを防ぐことができます。
ドリルビットが滑った場合は、ドリルビット位置を変えて再び強くチャックを締めつけてください。
ドリルビットの先端に切削グリスをつけると、作業がスムーズに行えます。

ブレーキ

電子無段変速スイッチ④を離すと回転は瞬時に停止します。
特に木ネジの施工で、ネジの頭の面が材料と同一の高さに来たとき電子無段変速スイッチ④を離しますと、ブレーキがはたらきネジの頭が材料に入り込んでしまうことを防ぎます。

電子無段変速スイッチ

軟らかい材料へのネジ締め／穴あけの際の位置決めには、電子無段変速スイッチ④を少しだけ引いて低い回転数でおこなってください。ドリル使用の場合の誤った位置での穴あけすぎ防止や、ドライバー使用の場合に長いネジ等を倒してしまうことがなく、ネジ締めが容易になります。
但し、低回転での長時間作業はしないでください。

トルク調整リング

木ネジの連続作業などでは最初の１本を締め込む際に、低いトルクから順に高くしてゆき、ネジが望みの深さまで締め込めた時のトルクに調節リングを固定すれば、２本目以降の作業が容易になります。

お手入れ・保管の仕方

◎チャックの中はいつもきれいな状態を保ってください。
ゴミのせいでチャックが詰まり動作が滑らかでなくなる恐れがあります。

◎汚れ取りは乾いた柔らかい布でふいてください。
ベンジン、シンナー等は変色の原因となるので使わないでください。

◎定期的な掃除と点検を行ってください。

◎付属のドライバービットはビットホルダーに収納してください。

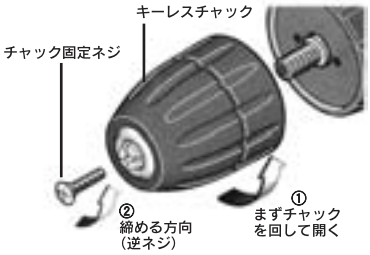
◎保管は適切な場所で行ってください。
- 小さなお子様が勝手に触れない所
- 近くに引火物がない所
- 湿気が少なく、温度が高温にならないところ
- ほこりのたたない所

◎バッテリー単位での保管は、端子部分をカバーしてください。

故障かな？　と思ったら

①まず取扱説明書をよくお読みください。

②次に症状が下記に当てはまるかどうかチェックしてみてください。

症　　状	考えられる発生原因	対　処　方　法
バッテリーを挿入しても充電器の緑ランプが点滅を開始しない。（充電を始めない）	→充電器とバッテリーの接点部の接触不良。 →バッテリーが熱い。（冷たい） →バッテリーの不良。（バッテリーは適正温度の場合）	→接点部の清掃でゴミを除去してください。 →バッテリーが適正温度（0～45℃）範囲に戻れば、充電器が自動的に充電を開始します。 →新しいバッテリーをご購入ください。
工具本体に充電済みバッテリーを接続してもスイッチが入れられない。	→工具本体の正・逆・安全ロックスイッチがロック位置になっている。	→正転、または逆転にセットしてお使いください。
工具本体に充電済みバッテリーを接続しても動作しない。	→バッテリーと本体接点部にゴミが付着している。 →バッテリー自体の寿命がきている。	→接点部の清掃でゴミを除去してください。 →新しいバッテリーをご購入ください。
充電しても穴あけやネジ締めの本数が少ない。	→先端工具に消耗などの不具合がある。 →バッテリー自体の寿命がきている。	→新しい先端工具と交換してください。 →新しいバッテリーをご購入ください。
チャックが本体からはずれてしまった。	→チャック奥底のチャック固定ネジがゆるんでしまっている。	 →チャックがはずれたときは上図のように、チャックの奥にあるチャック固定ネジをプラスドライバーで締めてください。

③上記の①，②でもご不明の点につきましては弊社お客様相談フリーダイヤル（電話番号はこの取扱説明書の裏表紙に記載）までおたずねください。

④修理をご依頼なさる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑤＜ご注意＞

当製品は厳重な品質管理体制の下に製造されております。万が一当取扱説明書に記載した通り正しくお使いいただいたにもかかわらず不具合が発生した場合は（消耗部品を除く）、お買い上げの販売店へご相談ください。

リ サ イ ク ル

電動工具本体の回収にご協力ください

ボッシュでは、使用済電動工具本体のリサイクル活動を推進しております。使用済電動工具本体の処理については、お買い求めになったボッシュ電動工具取扱販売店へご相談ください。

資源保護のため、環境保護のため、ボッシュの推進するリサイクル活動に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※電動工具本体の回収ーリサイクルは、ボッシュ製品に限らせていただきます。

バッテリーの回収にご協力ください

本機で使用しておりますニカドバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済バッテリーの廃棄に際しては、お買い求めになったボッシュ電動工具取扱販売店へご相談ください。

資源保護・環境保護のためのリサイクル活動に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※バッテリーは分解せず、またショート防止のため端子をテープ等で絶縁した状態でお持ちください。

Memo

仕　　様

本体仕様			
型式番号	PSR 960	PSR 1200/B	PSR 1440/B
モーター電圧	9.6V	12V	14.4V
回転数	0～550min^{-1}(回転/分)	0～700min^{-1}(回転/分)	0～700min^{-1}(回転/分)
トルク調整範囲	1.0～5.9N.m	1.7～7.3N.m	1.3～8.5N.m
チャック把握	1.0～10mm	1.0～10mm	1.0～10mm
質量(バッテリー含)	1.3Kg	1.4Kg	1.5Kg
最大能力			
穴あけ 鉄工	8mm φ	10mm φ	10mm φ
木工	14mm φ	20mm φ	25mm φ
締め付け 木ネジ	6mm φ	8mm φ	8mm φ
付属品			
バッテリー	9.6V 1個	12V 2個	14.4V 2個
充電器	1台	1台	1台
ドライバービット	1本	1本	1本

※材料やネジの長さ等により、最大能力は多少変化することがあります。

※充電器仕様については、充電器の取扱説明書をご参照ください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店、又は弊社までお問い合わせください。

2 609 140 209 (07.04)

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部
ホームページ：　http://www.bosch.co.jp
〒224-8501 神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-1
お客様ご相談フリーダイヤル
0120-345-764
（土・日・祝日を除く午前10:00～12:00、午後1:00～4:00）

EMA-PSR 961214 / '04. 07. PA.